

「中間とりまとめ」から「検討会とりまとめ案」への変更点

1. 全体構成について

検討会とりまとめ案の全体構成を次に示す。本編は業種を限定しない内容としている。

「中間とりまとめ」から参考資料を中心に記載内容を追加し、また、全体にわたって、検討結果としての表現から、報告事業者向けのマニュアルとしての表現に修正した。

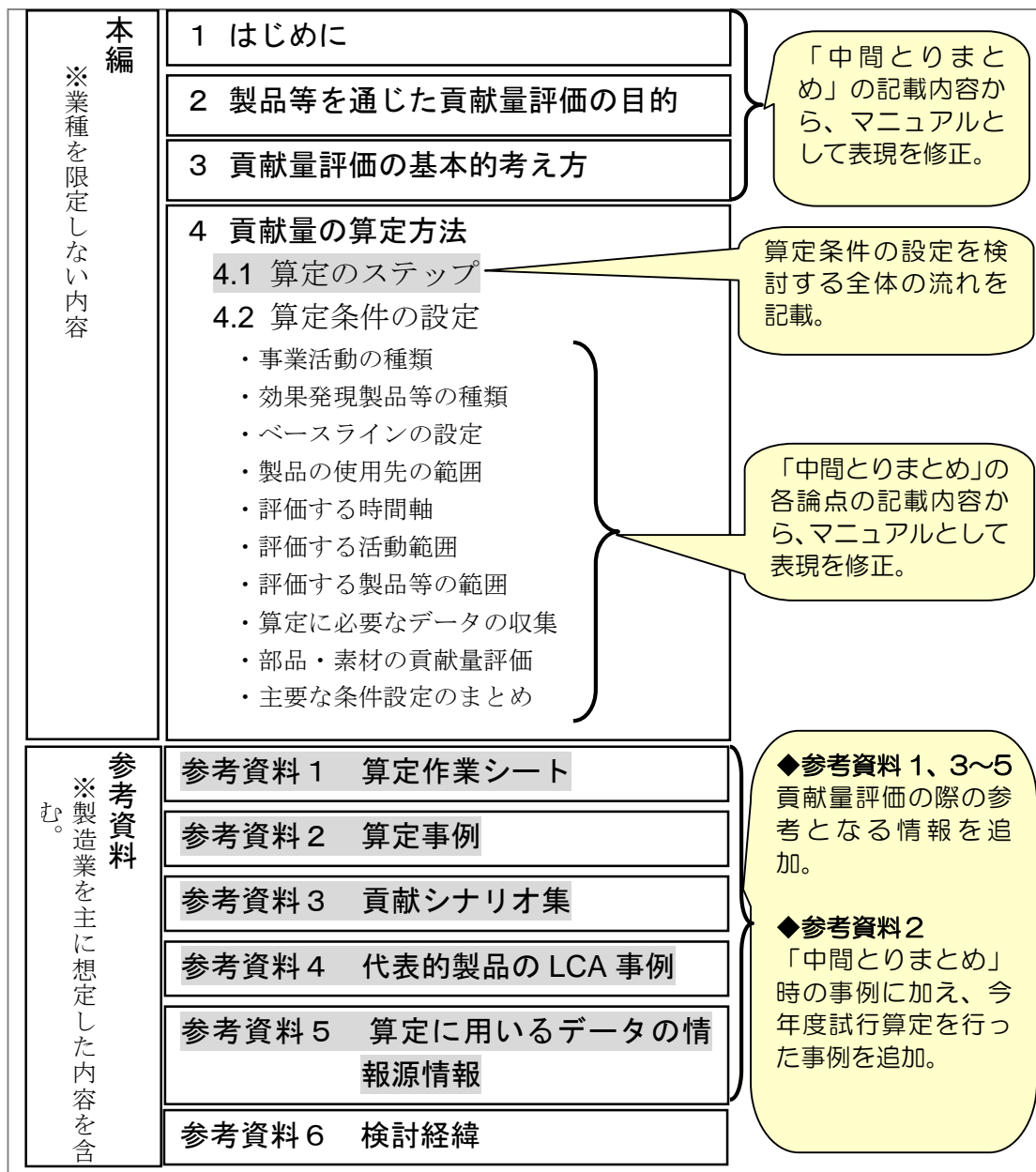


図 貢献量評価手法 検討会とりまとめの構成(案)

※網掛け…「中間とりまとめ」から大きく内容を追加した部分

2. 追加の内容

○ 本編 4.1 算定のステップ

- ・算定条件の設定を検討する全体の流れを示し、それぞれのステップでどのようなことを検討するか、4.2 の具体的な記載への導入となる説明を記載した。

○ 参考資料 1 算定作業シート

- ・貢献量算定のタイプ毎に、該当するシートへ記入を進めていくことで、貢献量の算定条件の検討、データの収集を進めるための算定作業シートを作成した。
- ・2012 年度に提出された事業者行動計画書において記載された製品・サービスを考慮し、それらが該当するよう表現等を修正した。
- ・他の参考資料との関連は参照で示した。

○ 参考資料 2 算定事例

- ・中間とりまとめで提示した 4 事例に加え、今年度の試行算定の 5 事例[※]を追加した。
※公表可能性の点で、4 事例となる可能性がある。

○ 参考資料 3 貢献シナリオ

- ・参考資料 2 に示す算定事例、及び、2012 年度に提出された事業者行動計画書において記載された製品・サービスをふまえ、貢献シナリオを示す。

○ 参考資料 4 代表的製品の LCA 事例

- ・県内の事業者が多く関係する代表的な製品の既存の LCA 事例を提示した。
- ・既存の LCA 事例の活用方法としては、①評価する活動範囲の特定、②排出原単位としての活用、2 つの使い方があることを示した上で、事例を示した。
- ・事例の提示においては、製品の製造年や規格等の条件を合わせて記載した。

○ 参考資料 5 算定に用いるデータの情報源情報

- ・製品の使用年数、エネルギー効率、CO₂ 排出原単位等に関して、共通に必要なデータの情報源情報を提示した。